

令和 7 年度 長都計第 6 9 5 号

街区公園等樹木管理委託業務

仕 様 書

長浜市都市建設部都市計画課

公園位置図（神照運動公園）



公園位置図（金屋公園）



公園位置図（大通寺公園）



公園位置図（相撲西公園）



神照運動公園



金屋公園



大通寺公園



相撲西公園



委 託 業 務 仕 様 書

委託業務番号 令和7年度 長都計第695号
委託業務名称 街区公園等樹木管理委託業務
委託業務場所 長浜市内一円
履 行 期 間 契約締結日の翌日から令和8年3月19日まで

第1条

本委託業務の現場作業の実施にあたっては、「一般土木工事等共通仕様書（令和6年4月滋賀県）」および「一般土木工事等共通仕様書付則（令和6年4月滋賀県土木交通部）」および本特記仕様書に準拠するものとする。

第2条

共通仕様書ならびに付則において、「滋賀県が発注する土木工事等」は「長浜市が発注する土木工事等」に、「滋賀県建設工事請負契約約款」は「長浜市建設工事請負契約約款」に、「滋賀県建設工事監督要領」は「長浜市建設工事監督要領」に、「滋賀県建設工事検査要領」は「長浜市工事検査規程」に、それぞれ読み替えるものとする。

第3条

長浜市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）

1. 請負者（請負人又は受注者）は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2. 請負者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別紙様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。
3. 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第4条 本工事の施工にあたっては、環境に与える影響を十分認識し、適切な環境配慮を行うため特記事項を遵守し施工すること。

第5条 共通仕様書および付則に対する特記事項は、次のとおりとする。

記

第1編 共通編

第1章 総則

1-1-1-18 建設副産物

当該委託業務により発生する剪定枝葉・幹については、法令等に則り適切に処分しなければならない。また、その処分量については、推定量にて積算しており、その処分にかかる費用については変更設計の対象とするため、処分地・処分量を示す書類（伝票）等を提出すること。

1-1-1-26 安全管理

業務実施にあたっては、公園・道路利用者および各施設等の安全管理に十分な配慮を行うこと。また、作業等を行う場合においては、現場周辺の住宅や道路交通にも配慮し、道路上の作業においては、所轄警察署長の道路使用許可を得、許可条件を遵守すること。高所作業では落下事故等が発生しないよう技術的な安全確保に努めること。

また、厚生労働省労働事務局の定める「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」に準拠し作業を行うこと。

第11編 公園緑地編

第2章 植栽

第5節 樹木整枝工

11-2-5-3 高中木整姿工

1. 高中木整姿工の施工については、以下の各号の規定による。

- (1) 受注者は、基本剪定の施工については、樹形の骨格づくりを目的とした人力剪定作業をもって、樹種の特性に応じた最も適切な剪定方法により行わなければならない。
- (2) 受注者は、軽剪定の施工については、樹冠の整正、混み過ぎによる枯損枝の発生防止を目的とした人力剪定作業をもって、切詰め、枝抜きを行わなければならない。
- (3) 受注者は、機械剪定の施工については、機械を用いた刈込み作業で、樹種の特性に応じた最も適切な剪定方法によって行わなければならない。

2. 剪定の施工については、主として剪定すべき枝は、以下の各号の規定による。

- (1) 枯枝
- (2) 成長のとまった弱小な枝（弱小枝）
- (3) 著しく病虫害におかされている枝（病虫害枝）
- (4) 通風、採光、架線、人車の通行の障害となる枝（障害枝）
- (5) 折損によって危険をきたすおそれのある枝（危険枝）
- (6) 樹冠や樹形の形成上及び樹木の生育上不必要な枝（冗枝、ヤゴ、胴ブキ、徒長枝、カラミ枝、フトコロ枝、立枝）

3. 剪定の方法については、以下の各号の規定による。

- (1) 受注者は、公園樹木の剪定については、特に修景上、規格形にする必要のある場合を除き、自然樹形仕立てとしなければならない。
- (2) 受注者は、樹木の上方や南側の樹勢が盛んな部分は強く、下方や北側の樹勢が弱い部分は弱く剪定しなければならない。
- (3) 受注者は、太枝の剪定は切断箇所の表皮がはがれないよう、切断予定箇所の数 10 cm 上よりあらかじめ切除し、枝先の重量を軽くしたうえ、切り返しを行い切除しなければならない。また、太枝の切断面には必要に応じて、防腐処理を施すものとする。
- (4) 受注者は、樹枝については、外芽のすぐ上で切除しなければならない。ただし、しだれ物については内芽で切るものとする。
- (5) 受注者は、樹冠外に飛び出した枝切りや、樹勢回復するために行う切り返し剪定については、樹木全体の形姿に配慮し、適正な分岐点より長い方の枝を付け根より切取らなければならない。
- (6) 受注者は、枝が混み過ぎた部分の中すかしや樹冠の形姿構成のために行う枝抜き剪定については、不必要な枝（冗枝）をその枝のつけ根から切取らなければならない。
- (7) 受注者は、花木類の手入れについては、花芽の分化時期を考慮し、手入れの時期及び着生位置に注意しなければならない。

1 1－2－5－4 低木整姿工

1. 受注者は、低木整姿工の施工については、下記の事項により施工するものとし、記載のないものについては、2－5－3 高中木整姿工の規定による。
2. 受注者は、枝の密生した箇所は中すかしを行い、目標とする樹冠を想定して樹冠周縁の小枝を輪郭線を作りながら刈込まなければならない。
3. 受注者は、裾枝の重要なものは、上枝を強く、下枝を弱く刈込まなければならない。また、萌芽力の弱い針葉樹については弱く刈込んで、萌芽力を損なわないよう、樹種

の特性に応じ、充分注意しながら芽つみを行わなければならない。

4. 受注者は、大刈込みは、各樹種の生育状態に応じ、目標とする刈り高にそろうよう、刈込まなければならない。また、植込み内に入って作業する場合は、踏み込み部分の枝条を損傷しないように注意し、作業終了後は枝条が元に戻るような処置を行わなければならない。

(その他の特記事項)

1. 損害賠償

業務実施に伴い、通常発生する物件等の破損の補修費および騒音・振動・濁水・交通障害等による事業損失に係る補償は、受注者の負担において行うものとする。

2. 剪定、刈込み作業

剪定と刈込み作業については、枯死・平行枝等樹木の成長上好ましくないものの切除や、安全上や保全上支障となる枝等の切除を行い、美観を主たる目的とする樹冠等の整姿を行うものとする。なお、大枝の切断面には必要に応じて防腐処理を行うものとし、桜については、全断面実施するものとする。

3. 作業管理者

業務については「1級造園施工管理技士」、「2級造園施工管理技士」、「1級造園技能士」又は「2級造園技能士」いずれかの有資格者が現場で作業管理を行うこと。

この作業管理を行う者（以降、「作業管理者」という）は受注者（又はその代表者）本人か、受注者に直近の3ヶ月間直接雇用されている者とする。

4. 提出書類

受注者は、契約時に発注者と協議し「計画工程表」「現場組織表」「緊急時の体制及び対応」を提出しなければならない。作業管理者については、「1級造園施工管理技士」、「2級造園施工管理技士」、「1級造園技能士」又は「2級造園技能士」のいずれかの有資格者であることを証する書類の写しと、雇用状況がわかる資料（※）を添付すること。また、受注者は、作業完了届に「作業前・作業後の写真」「処分地持込み写真」「処分場の伝票」「作業日報」を添付したものを発注者に提出し、確認検査を受けなければならない。また、作業をする場合、開始前に都市計画課に作業内容を報告し、作業終了後も同様に報告すること。

※受注者に直近の3ヶ月間直接雇用されていることがわかる書類。受注者（又はその代表者）本人については不要。

5. その他

以上、本仕様書は街区公園等樹木管理委託業務の主な仕様を示したものであり、作業の性質上当然実施しなければならないものはもちろん、わずかな部分で記載のない事項でも附帯作業はすべて受注者において行い、また、発注者の指示に従い実施するものとする。

不 当 介 入〔 不当要求 業務妨害 〕 事 案 通 報 書

滋賀県長浜警察署長 様
長 浜 市 長 様

(通報者) _____

		※ 取扱署等	滋賀県 警察署 課
請 負 者	所在地	(本社)	電話 () - FAX () -
		(現場事務所)	電話 () - FAX () -
	名 称		
	代表者	(現場事務所の代表者)	
	通報者 等	(通報者の職・氏名) 電話 () -	
		(対応者) 所属会社名 電話 () -	
		氏 名	
		役 職	
不当介入の 行為者	住所	電話 () - FAX () -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時 ・ 場所	令和 年 月 日 時 分頃		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)		電話 () - FAX () -
工事件名			
不当介入の 内容・被害 の状況			
警察への 通報の状況		(警察への通報) 有 ・ 無 (通報先警察署) 滋賀県 警察署 課 (通 報 日 時) 令和 年 月 日 時 分頃	

注 1 第一報は、この様式に必要な事項を記入したうえ、長浜警察署刑事課あて電話で行った後、その旨を 「警察への通報状況」 の欄に記入して発注者及び長浜警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（発注者）が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。